



第 58 代理事長 秦 聡司

この度、第 58 代理事長を任期満了に伴い退任することになりました。

在任中、会員の皆様方には暖かいご支援とご厚情を賜りました事、心より深く感謝申し上げます。

在任中は至らぬ点、ご心配をおかけした点、多々あったと思います。この場をお借りいたしまして改めてお詫び申し上げます。

昨年の東日本大震災直後に理事長職という大役をおおせつかり、この非常事態に私達、大阪菓業青年クラブとして何か行動すべきではないかと理事会で意見を交換しあった結果、6月に急遽「愛の菓子」運動を釜石市で行うことが出来

ました。ひとえに大阪市ならびに皆様のご協力があったことです。

何事においてもそうだととは思いますが、個人で何かを動したり、変えようとするには限界があります。しかし、多くの人が集まり、多くの意見を出し合い、多くの人間が動けば立派な社会奉仕活動もできます。

先月、全菓連の北海道・東北ブロック大会で被災地に行つてまいりましたが、沿岸部はまだ復旧が進んでおりません。中学校の校舎で小学生が授業を受けたり、校舎が流されて隣の小学校まで登校したり、その校庭の片隅には仮設住宅が建つてあったりもしました。まだまだ震災前の状況とはほど遠い状況を目の当たりにしました。

そして私は思いました。私たちにはお菓子という子供たちにとって最高のツールを持ち合わせています。彼等、彼女等の生活を変えることはできませんが、ほんの一瞬でも笑顔にさせてあげることはできると思います。しかし、そういった活動を推し進めるには当クラブが引き続き団結力を強めていくことも必要でしょう。現役会員の減少は今後ますます進んで行くことが予想されます。そこでOB会員の皆様のご協力を得て、現役会員との繋がりを強めていく事業を立ち上げていただきたいと心より願っております。

本来、私が理事長である間に立ち上げる事業ではございましたが、私の力不足のために、次年度に持ち越しとなってしまいました事、改めてお詫び申し上げます。

あと数年で大阪菓業青年クラブ 60 周年を迎えます。私たち現役会員はもちろん、OB 会員の皆様、そして協賛会員の皆様もどうぞご協力の程、よろしくお願いいたします。

先ほども申し上げました様に多くの人の意見や行動が伴えば、より大きな活動が行えると信じております。最後になりましたが、我々の業界も本当に厳しい状況に変わりませんが、今後とも日々研鑽を重ね、皆様とともに歩んでまいりたいと思います。